

<為替ヘッジあり>

第1期末 (2023年12月11日)	
基準価額	12,182円
純資産総額	46億円
騰落率	21.8%
分配金	0円

<為替ヘッジなし>

第1期末 (2023年12月11日)	
基準価額	13,493円
純資産総額	66億円
騰落率	34.9%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式 厳選ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 株式

運用報告書(全体版)

作成対象期間：2022年11月28日～2023年12月11日

第1期 (決算日 2023年12月11日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、このたび第1期の決算を行いました。

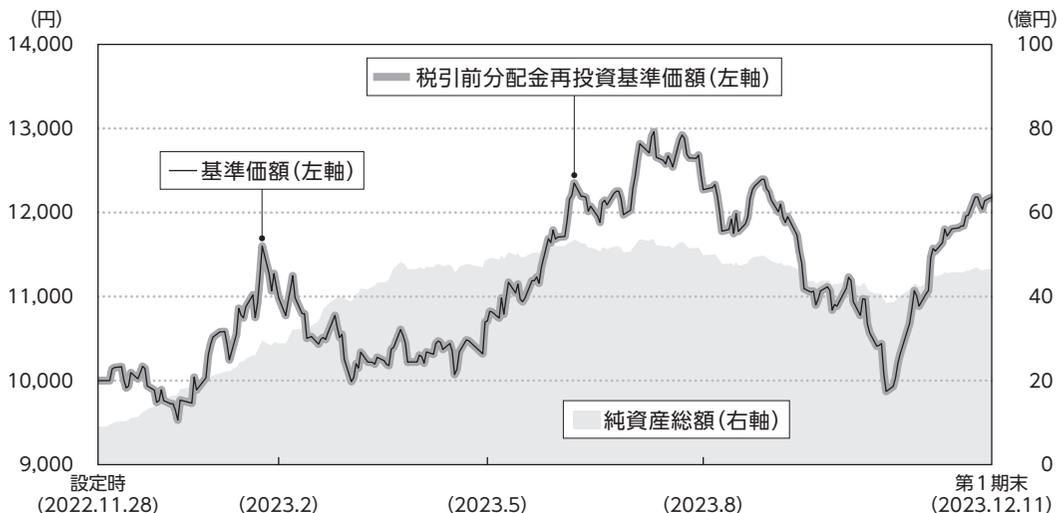
各ファンドは、「TCWファンズII-TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド(円ヘッジクラス) / (ノンヘッジクラス)」への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2022年11月28日～2023年12月11日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	12,182円	騰落率(分配金再投資ベース)	21.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・4月下旬から7月中旬にかけて、欧米金融当局による金融システム不安への迅速な対応や生成人工知能(AI)を巡る期待感などを背景に、株価が上昇基調で推移したこと
- ・10月下旬から当期末にかけて、米連邦準備制度理事会(FRB)をはじめとする主要中央銀行の金融引き締めが終了したとの観測が高まったことなどから、株価が大きく上昇したこと

<下落要因>

- ・9月上旬から10月下旬にかけて、FRBの金融引き締め長期化懸念などを背景に米金利が上昇したことが嫌気され、株価が下落基調で推移したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	137円	1.228%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,123円です。
(投信会社)	(38)	(0.343)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(95)	(0.857)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	8	0.068	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(8)	(0.068)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	1	0.006	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.006)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	145	1.302	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

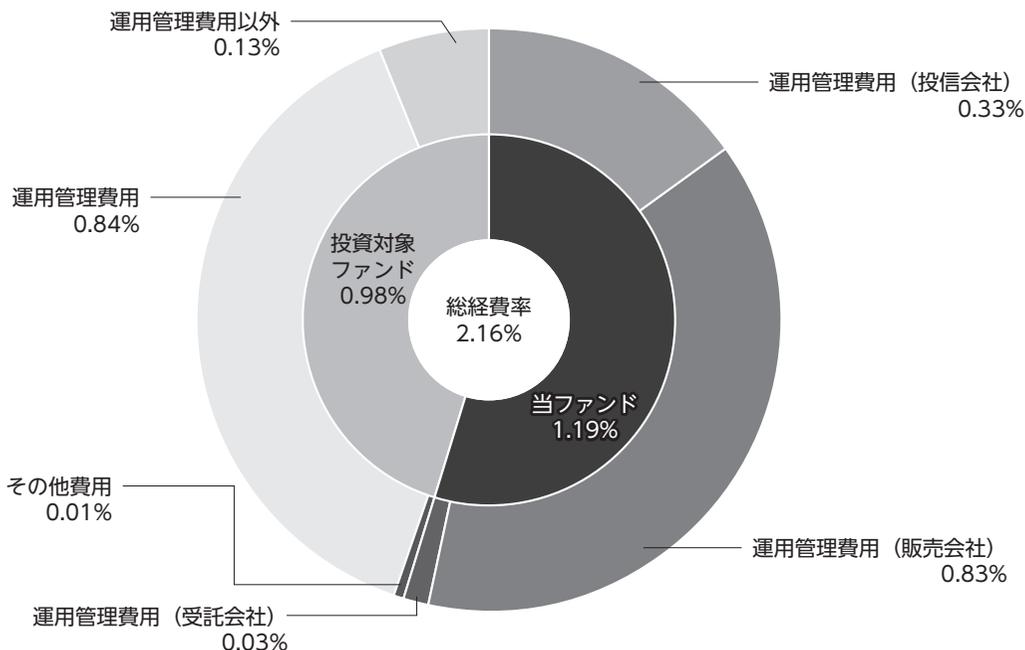
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.16%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.16%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.84%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

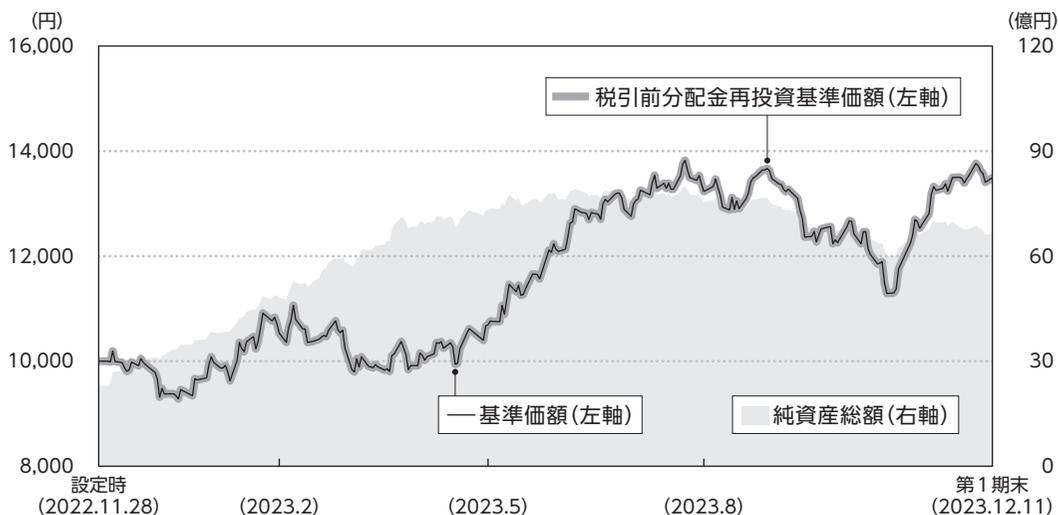
(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	13,493円	騰落率(分配金再投資ベース)	34.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・4月下旬から7月中旬にかけて、欧米金融当局による金融システム不安への迅速な対応や生成AIを巡る期待感などを背景に株価が上昇基調で推移したことに加え、底堅い米経済指標の発表や追加利上げ姿勢を示すFRBと金融緩和政策を維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどから、米ドル高円安基調で推移したこと
- ・10月下旬から当期末にかけて、FRBをはじめとする主要中央銀行の金融引き締めが終了したとの観測が高まったことなどから、株価が大きく上昇したこと

<下落要因>

- ・9月上旬から10月下旬にかけて、FRBの金融引き締め長期化懸念などを背景に米金利が上昇したことが嫌気され、株価が下落基調で推移したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	143円	1.228%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,613円です。
(投信会社)	(40)	(0.343)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(99)	(0.857)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.029)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	14	0.123	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(14)	(0.123)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	1	0.005	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	157	1.356	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

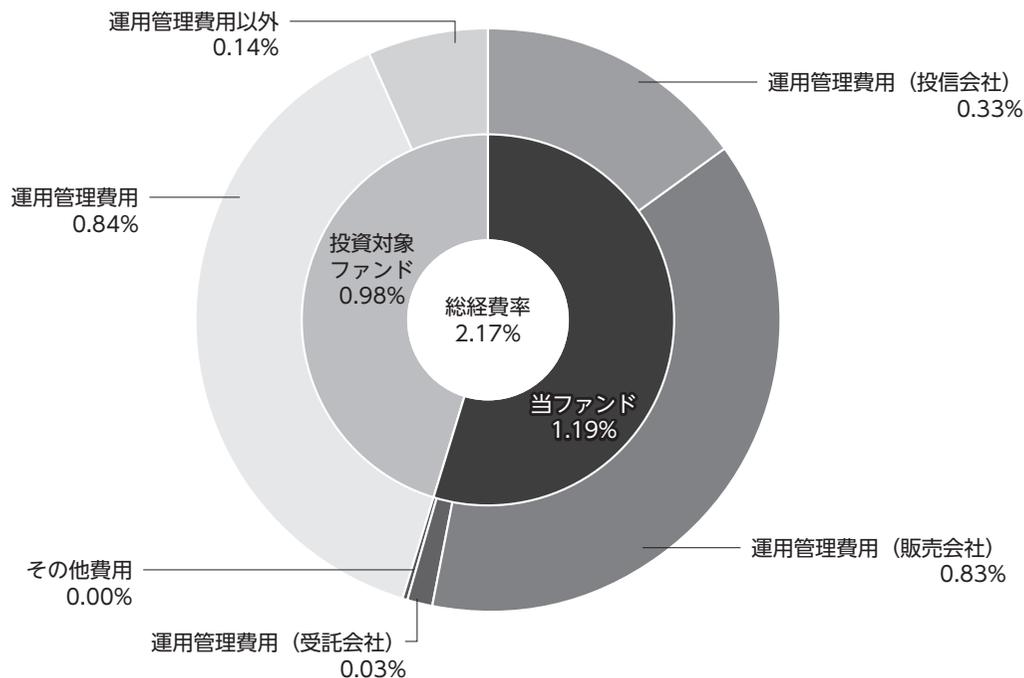
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.17%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.17%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.84%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

株式市況

【MSCIワールド・インデックス (配当込み、米ドルベース)の推移】

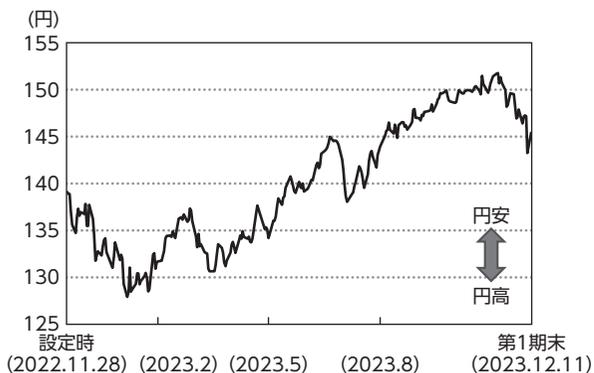


(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。期初は世界的な金利上昇圧力などを受けて株価は下落しましたが、2023年1月以降は大型テクノロジー企業の業績が好感され、グロース（成長）株やテクノロジー株への物色などから上昇しました。その後、米地銀の経営破綻に端を発した欧米金融機関への信用不安から株価は下落したものの、7月下旬にかけては欧米金融当局による金融システム不安への迅速な対応や生成AIを巡る期待感などを背景に上昇基調で推移しました。9月上旬から10月下旬にかけてはFRBの金融引き締め長期化懸念などを背景に米金利が上昇したことが嫌気され、株価は下落基調で推移しましたが、当期末にかけてはFRBをはじめとする主要中央銀行の金融引き締めが終了したとの観測が高まったことなどから、大きく反発しました。

為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

期初から2023年1月中旬にかけて、FRBによる利上げペースが緩和されるとの見方が強まったことなどから米ドル安円高基調で推移しました。その後、6月末にかけては、底堅い米経済指標の発表や追加利上げ姿勢を示すFRBと金融緩和政策を維持する日銀との金融政策の方向性の違いなどから、米ドル高円安基調で推移しました。その後は内田日銀副総裁の発言を受け金融緩和修正への期待が高まったことなどから一時米ドル安円高となりましたが、日銀が本格的な金融政策の正常化まで時間を要するとの見方が広がったことなどから、再び米ドル高円安基調となりました。当期末にかけては軟調な米雇用統計などを受けて、米ドル安円高となりました。

ポートフォリオ

■為替ヘッジあり

「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラス）」への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■為替ヘッジなし

「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（ノンヘッジクラス）」への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド （円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

*TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地における当期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

日本を含む各国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。なお《円ヘッジクラス》については、組入外貨資産について原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

組入銘柄については、日本を含む各国の株式のなかから、本来の企業価値に比べて株価が低く、今後の株価上昇余地が大きいと判断される銘柄に厳選して投資銘柄を決定しました。

当期末時点における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（36.2%）、資本財・サービス（19.6%）、ヘルスケア（15.6%）としており、国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（83.8%）、アイルランド（5.5%）、カナダ（5.1%）としています。

（注1）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

（注3）国・地域はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジなし

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2022年11月28日～2023年12月11日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,182円

■為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2022年11月28日～2023年12月11日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,492円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■為替ヘッジあり

「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラス）」への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■為替ヘッジなし

「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（ノンヘッジクラス）」への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド （円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）

地政学リスクを巡る不透明感の増大や高インフレ・高金利水準が続いていることもあり、景気への下押し圧力が強い状況が継続しています。一方で、インフレの落ち着きが鮮明となっており、FRBによる金融引き締め姿勢は緩和されていると見られることから、今後は景気と金融政策の方向性のバランスをにらんだ展開が予想されます。もっとも、企業の経営活動が保守的になる環境は続いており、引き続き金融市場の不安心理が大きくなりやすいことから、過度な楽観には注意が必要であると判断しています。景気は減速しつつも良好な雇用環境が景気の下振れリスクを緩和し、金融引き締めの転換が図られることがベストシナリオではありますが、さまざまなリスクがくすぶっていることから、その要素に細心の注意を払う局面が続いていると考えています。高インフレと高金利水準の環境下において株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）は株価の押し上げ要因にはなりづらく、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色やセクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）の激しい動きが続く可能性が想定されます。

当ファンドでは、本来の企業価値に比べて株価が低く、今後の株価上昇余地が大きいと判断される銘柄に厳選して投資を行う方針です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド（為替ヘッジあり）の組入資産の内容

組入ファンド

	第1期末 2023年12月11日
TCWファンズII-TCW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラス)	98.8%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

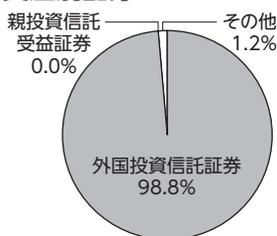
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

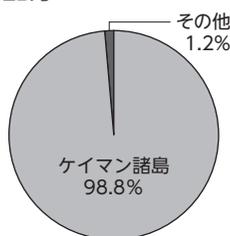
項目	第1期末 2023年12月11日
純資産総額	4,660,464,595円
受益権総口数	3,825,688,943口
1万口当たり基準価額	12,182円

(注) 当期間中における追加設定元本額は3,704,932,658円、同解約元本額は785,734,363円です。

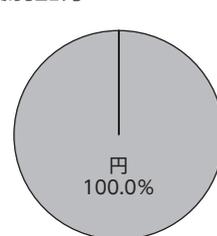
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年12月11日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド（為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第1期末 2023年12月11日
TCWファンズII-TCW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (ノンヘッジクラス)	98.8%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

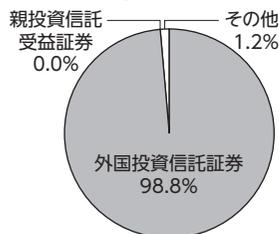
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

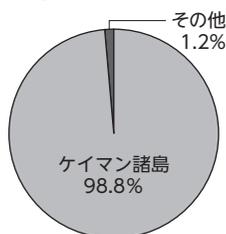
項目	第1期末 2023年12月11日
純資産総額	6,634,917,658円
受益権総口数	4,917,392,328口
1万円当たり基準価額	13,493円

(注) 当期間中における追加設定元本額は4,662,732,663円、同解約元本額は2,038,289,361円です。

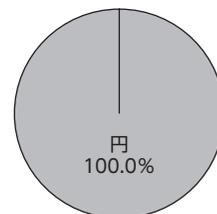
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年12月11日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

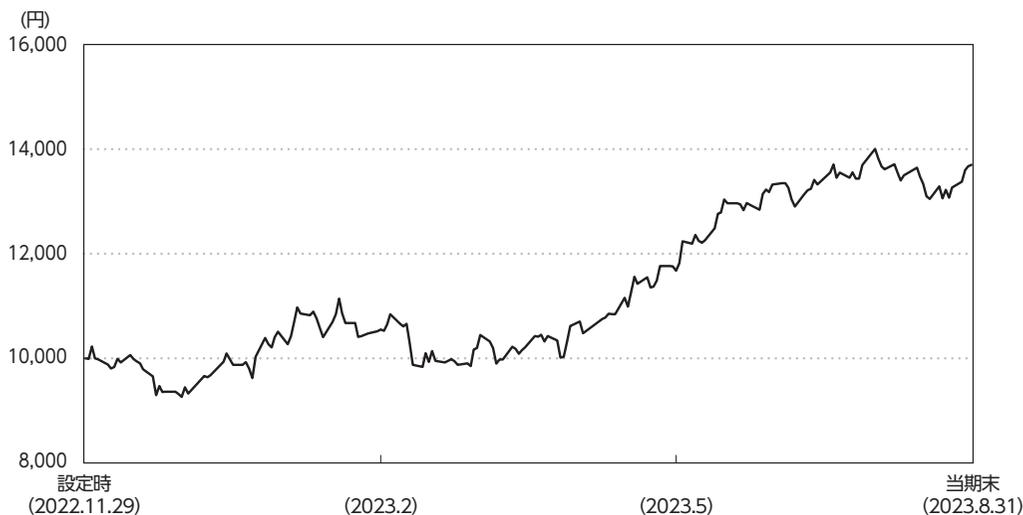
TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラス) / (ノンヘッジクラス) の概要

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移

<TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラス) >



<TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (ノンヘッジクラス) >

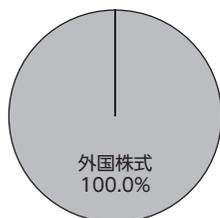


(注) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものです。

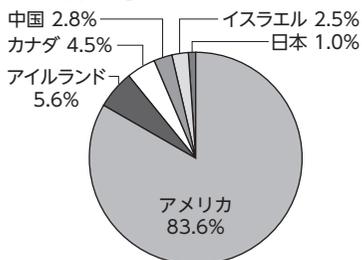
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Vertiv Holdings Co. Class A	米ドル	6.0%
NVIDIA Corporation	米ドル	6.0
Eaton Corp. Plc	米ドル	5.6
Meta Platforms Inc. Class A	米ドル	5.6
Zoetis, Inc. Class A	米ドル	4.7
Shopify, Inc. Class A	米ドル	4.5
TransUnion	米ドル	4.4
Floor & Decor Holdings, Inc. Class A	米ドル	4.3
RH	米ドル	4.3
Snowflake, Inc. Class A	米ドル	4.1
組入銘柄数		30

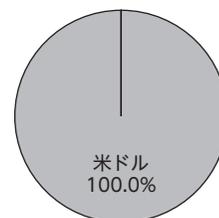
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2023年8月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券の組入株式等に対する評価額の割合です。なお、国別配分はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

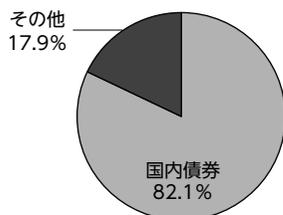
銘柄名	通貨	比率
第132回 共同発行市場公募地方債	円	21.6%
平成26年度第4回 京都府公募公債	円	13.9
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	13.9
平成25年度第11回 埼玉県公募公債	円	12.0
第727回 東京都公募公債	円	11.0
令和元年度第1回 長崎県公募公債	円	7.8
第1121回 国庫短期証券	円	1.9
組入銘柄数		7

■ 1万口当たりの費用明細

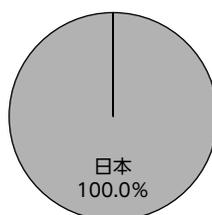
2023.4.18~2023.10.16

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

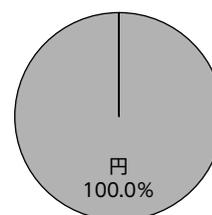
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年10月16日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	TCWファンズ Ⅱ－TCW オポチュニスティ ック・リカバリー 株式ファンド (円ヘッジクラス)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	%	百万円
2022年11月28日	10,000	－	－	10,000	－	－	906
1期(2023年12月11日)	12,182	0	21.8	12,182	98.8	0.0	4,660

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズ Ⅱ－TCW オポチュニスティ ック・リカバリー 株式ファンド (円ヘッジクラス)	債券 組入比率
(設定日)2022年11月28日	円 10,000	% －	% －	% －
11月末	10,000	0.0	93.6	0.0
12月末	9,768	△ 2.3	94.7	0.0
2023年1月末	10,752	7.5	96.3	0.0
2月末	10,493	4.9	95.4	0.0
3月末	10,395	4.0	96.2	0.0
4月末	10,341	3.4	98.6	0.0
5月末	11,233	12.3	98.7	0.0
6月末	12,090	20.9	98.6	0.0
7月末	12,864	28.6	99.1	0.0
8月末	12,272	22.7	99.2	0.0
9月末	11,067	10.7	99.1	0.0
10月末	10,034	0.3	99.3	0.0
11月末	11,958	19.6	99.3	0.0
(期末)2023年12月11日	12,182	21.8	98.8	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

売買および取引の状況

2022年11月28日～2023年12月11日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
T CWファンズII - T CW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラス)	千口 445	千円 4,608,970	千口 73	千円 891,148

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千円 10	千口 -	千円 -

利害関係人との取引状況等

2022年11月28日～2023年12月11日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年12月11日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
T CWファンズII - T CW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラス)	千口 372	千円 4,604,182	% 98.8
合計	372	4,604,182	98.8

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	当期末	
	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千円 9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は714,631千口です。

投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
TCWファンズⅡ－TCW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラス)	4,604,182	97.9
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	101,121	2.1
投資信託財産総額	4,705,313	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年12月11日現在)

項目	当期末
(A) 資産	4,705,313,725円
コール・ローン等	101,121,237
TCWファンズⅡ－TCW オポチュニスティック・リカバリー 株式ファンド(円ヘッジクラス)(評価額)	4,604,182,491
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	9,997
(B) 負債	44,849,130
未払解約金	14,449,122
未払信託報酬	30,252,838
その他未払費用	147,170
(C) 純資産総額(A－B)	4,660,464,595
元本	3,825,688,943
次期繰越損益金	834,775,652
(D) 受益権総口数	3,825,688,943口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,182円

(注) 設定元本額 906,490,648円
 期中追加設定元本額 3,704,932,658円
 期中一部解約元本額 785,734,363円

損益の状況

当期(2022年11月28日～2023年12月11日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 42,199円
受取利息	9,720
支払利息	△ 51,919
(B) 有価証券売買損益	765,107,913
売買益	881,062,043
売買損	△ 115,954,130
(C) 信託報酬等	△ 50,040,008
(D) 当期損益金(A+B+C)	715,025,706
(E) 追加信託差損益金*	119,749,946
(配当等相当額)	(△ 24,755)
(売買損益相当額)	(119,774,701)
(F) 合計(D+E)	834,775,652
次期繰越損益金(F)	834,775,652
追加信託差損益金	119,749,946
(配当等相当額)	(△ 24,755)
(売買損益相当額)	(119,774,701)
分配準備積立金	715,067,905
繰越欠損金	△ 42,199

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	715,067,905円
(c) 信託約款に定める収益調整金	119,774,701円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	834,842,606円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	2,182.20円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	TCWファンズ Ⅱ－TCW オポチュニスティ ック・リカバリー 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日)	円	円	%	円	%	%	百万円
2022年11月28日	10,000	－	－	10,000	－	－	2,292
1期(2023年12月11日)	13,493	0	34.9	13,493	98.8	0.0	6,634

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズ Ⅱ－TCW オポチュニスティ ック・リカバリー 株式ファンド (ノンヘッジクラス)	債券 組入比率
(設定日)2022年11月28日	円 10,000	% －	% －	% －
11月末	9,988	△ 0.1	94.5	0.0
12月末	9,459	△ 5.4	97.8	0.0
2023年1月末	10,238	2.4	96.4	0.0
2月末	10,459	4.6	96.1	0.0
3月末	10,138	1.4	97.0	0.0
4月末	10,236	2.4	99.1	0.0
5月末	11,649	16.5	98.5	0.0
6月末	13,034	30.3	99.0	0.0
7月末	13,526	35.3	98.7	0.0
8月末	13,487	34.9	99.1	0.0
9月末	12,517	25.2	99.2	0.0
10月末	11,377	13.8	99.3	0.0
11月末	13,469	34.7	99.1	0.0
(期末)2023年12月11日	13,493	34.9	98.8	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

売買および取引の状況

2022年11月28日～2023年12月11日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
T CWファンズII - T CW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (ノンヘッジクラス)	千口 676	千円 6,830,670	千口 198	千円 2,526,128

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千円 10	千口 -	千円 -

利害関係人との取引状況等

2022年11月28日～2023年12月11日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2023年12月11日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
T CWファンズII - T CW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (ノンヘッジクラス)	千口 477	千円 6,555,844	% 98.8
合計	477	6,555,844	98.8

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	当期末	
	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千円 9

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は714,631千口です。

投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
TCWファンズII-TCW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (ノンヘッジクラス)	千円 6,555,844	% 96.9
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	207,123	3.1
投資信託財産総額	6,762,978	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年12月11日現在)

項目	当期末
(A) 資産	6,762,978,037円
コール・ローン等	161,690,273
TCWファンズII-TCW オポチュニスティック・リカバリー 株式ファンド(ノンヘッジクラス)(評価額)	6,555,844,477
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	9,997
未収入金	45,433,290
(B) 負債	128,060,379
未払解約金	81,850,479
未払信託報酬	46,029,600
その他未払費用	180,300
(C) 純資産総額(A-B)	6,634,917,658
元本	4,917,392,328
次期繰越損益金	1,717,525,330
(D) 受益権総口数	4,917,392,328口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,493円

(注) 設定元本額 2,292,949,026円
 期中追加設定元本額 4,662,732,663円
 期中一部解約元本額 2,038,289,361円

損益の状況

当期(2022年11月28日~2023年12月11日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 55,421円
受取利息	20,160
支払利息	△ 75,581
(B) 有価証券売買損益	1,765,262,806
売買益	2,195,857,896
売買損	△ 430,595,090
(C) 信託報酬等	△ 77,714,221
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,687,493,164
(E) 追加信託差損益金*	30,032,166
(配当等相当額)	(△ 18,499)
(売買損益相当額)	(30,050,665)
(F) 合計(D+E)	1,717,525,330
次期繰越損益金(F)	1,717,525,330
追加信託差損益金	30,032,166
(配当等相当額)	(△ 18,499)
(売買損益相当額)	(30,050,665)
分配準備積立金	1,687,548,585
繰越欠損金	△ 55,421

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,687,548,585円
(c) 信託約款に定める収益調整金	30,050,665円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	1,717,599,250円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	3,492.91円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■《為替ヘッジあり》の自社の実質保有比率

2023年11月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に7.0%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

■《為替ヘッジなし》の自社の実質保有比率

2023年11月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーマーケットマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に7.0%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商 品 分 類		追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間		2022年11月28日～2027年12月10日	
運 用 方 針		外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
		実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド	「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラス）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（ノンヘッジクラス）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラス）／（ノンヘッジクラス）	米国の証券取引所等に上場している日本を含む各国の株式（DR（預託証券）を含みます）	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法		以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・デリバティブの直接利用は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託者の判断により、分配を行わないことがあります。	

TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド

以下は、「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド」(ケイマン籍外国投資信託証券)の2023年8月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書 (2022年11月29日～2023年8月31日)

	(円)
収益	
配当収益	53,177,035
金利収益	16,305,984
現金および現金同等物の純外貨利益	17,599,630
損益を通じて公正価値で測定される金融資産および負債の公正価値のその他の純変動	3,321,751,828
その他収益	6,585,276
純収益合計	3,415,419,753
費用	
受託者報酬および管理事務代行報酬	8,045,826
監査費用	4,090,000
保管費用	6,658,596
運用費用	57,339,803
利息費用	139,891
ファンド組成費用	7,171,028
その他費用	1,624,811
営業費用合計	85,069,955
営業利益合計	3,330,349,798
償還可能投資口保有者に帰属する税引前純資産の増加額	3,330,349,798
配当源泉税	(14,561,515)
営業による償還可能ユニットの保有者に帰属する純資産の増加	3,315,788,283

(2) 投資有価証券明細表 (2023年8月31日現在)

The TCW Funds II - TCW Opportunistic Recovery Equity Fund (TCWOREH, TCWOREU)

Stock	Currency	No. of Shares	Market Value (JPY)	Weight(%)
Vertiv Holdings Co. Class A	USD	197,106	1,130,633,228	6.0%
NVIDIA Corporation	USD	15,656	1,125,247,132	6.0%
Eaton Corp. Plc	USD	31,432	1,054,469,106	5.6%
Meta Platforms Inc. Class A	USD	24,409	1,051,759,010	5.6%
Zoetis, Inc. Class A	USD	31,695	879,314,956	4.7%
Shopify, Inc. Class A	USD	87,563	847,837,942	4.5%
TransUnion	USD	70,005	827,995,548	4.4%
Floor & Decor Holdings, Inc. Class A	USD	56,336	817,931,821	4.3%
RH	USD	15,300	813,666,133	4.3%
Snowflake, Inc. Class A	USD	33,509	765,388,485	4.1%
Cognex Corporation	USD	101,750	697,600,584	3.7%
Micron Technology, Inc.	USD	64,864	660,640,683	3.5%
Guardant Health, Inc.	USD	103,744	590,409,739	3.1%
Datadog Inc Class A	USD	41,167	578,392,233	3.1%
Dick's Sporting Goods, Inc.	USD	33,806	572,741,658	3.0%
BJ's Restaurants, Inc.	USD	129,305	553,791,462	2.9%
Roku, Inc. Class A	USD	44,899	530,919,450	2.8%
Baidu Inc Sponsored ADR Class A	USD	24,963	519,220,914	2.8%
DexCom, Inc.	USD	35,291	518,961,672	2.8%
CyberArk Software Ltd.	USD	19,765	477,909,280	2.5%
Natera, Inc.	USD	54,970	470,134,058	2.5%
Denali Therapeutics Inc.	USD	135,784	456,571,147	2.4%
Intel Corporation	USD	86,757	443,958,299	2.4%
Intellia Therapeutics, Inc.	USD	81,119	442,749,530	2.4%
Baxter International Inc.	USD	72,767	430,225,792	2.3%
Norfolk Southern Corporation	USD	13,572	405,186,360	2.2%
Charles Schwab Corp	USD	41,930	361,173,238	1.9%
Deere & Company	USD	5,527	330,753,018	1.8%
QUALCOMM Incorporated	USD	16,357	272,809,112	1.4%
Nintendo Co., Ltd. Un-sponsored ADR	USD	119,855	186,232,940	1.0%

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 24 期

(計算期間：2023年4月18日～2023年10月16日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



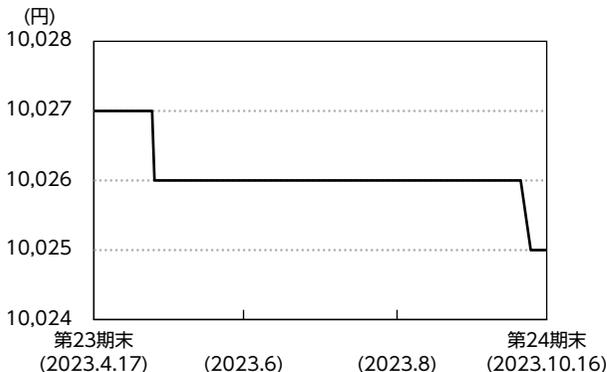
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年4月18日～2023年10月16日

基準価額等の推移



■ 基準価額の主な変動要因

<下落要因>

- ・ 前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■ 約款変更

デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、関連条項に所要の変更を行いました。

(2023年7月26日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
20期 (2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期 (2022年4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50
22期 (2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50
23期 (2023年4月17日)	10,027	△0.0	89.9	706
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1	720

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2023年4月17日	10,027	—	89.9
4月末	10,027	0.0	89.3
5月末	10,026	△0.0	66.3
6月末	10,026	△0.0	63.0
7月末	10,026	△0.0	72.3
8月末	10,026	△0.0	81.1
9月末	10,026	△0.0	81.2
(期末)2023年10月16日	10,025	△0.0	82.1

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年4月18日～2023年10月16日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,026円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年4月18日～2023年10月16日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	322,340	— (165,000)
	特殊債券	—	— (200,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年4月18日～2023年10月16日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
平成26年度第4回 京都府公募公債	100,628	—	—
平成25年度第11回 埼玉県公募公債	86,450		
第727回 東京都公募公債	79,257		
令和元年度第1回 長崎県公募公債	56,004		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年10月16日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	額面金額	評価額	組入比率	当期末				
				うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	14,000 (14,000)	14,001 (14,001)	1.9 (1.9)	—	—	—	—	1.9 (1.9)
地方債証券	476,000 (476,000)	477,237 (477,237)	66.3 (66.3)	—	—	—	—	66.3 (66.3)
特殊債券 (除く金融債券)	100,000 (100,000)	100,030 (100,030)	13.9 (13.9)	—	—	—	—	13.9 (13.9)
合計	590,000 (590,000)	591,269 (591,269)	82.1 (82.1)	—	—	—	—	82.1 (82.1)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第1121回 国庫短期証券	—	2023/11/20	14,000	14,001
	小計	—	—	—	14,001
地方債証券	第727回 東京都公募公債	0.7200	2023/12/20	79,000	79,100
	平成26年度第4回 京都府公募公債	0.6640	2024/ 6 /20	100,000	100,454
	平成25年度第11回 埼玉県公募公債	0.6550	2024/ 3 /26	86,000	86,244
	第132回 共同発行市場公募地方債	0.6600	2024/ 3 /25	155,000	155,435
	令和元年度第1回 長崎県公募公債	0.0100	2024/ 6 /26	56,000	56,003
	小計	—	—	—	477,237
特殊債券 (除く金融債券)	第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.6990	2023/10/31	100,000	100,030
	小計	—	—	—	100,030
	合計	—	—	—	591,269

投資信託財産の構成

2023年10月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	591,269	82.0
コール・ローン等、その他	130,227	18.0
投資信託財産総額	721,496	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月16日現在)

項目	当期末
(A)資産	721,496,958円
コ ー ル ・ ロ ー ン 債 (評価額)	129,585,003
公 社 債 (評価額)	591,269,516
未 収 利 息	590,905
前 払 費 用	51,534
(B)負債	1,163,467
未 払 解 約 金	1,163,365
そ の 他 未 払 費 用	102
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	720,333,491
元 本	718,501,875
次 期 繰 越 損 益 金	1,831,616
(D)受 益 権 総 口 数	718,501,875口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,025円

(注1) 期首元本額 704,956,153円
 期中追加設定元本額 104,036,090円
 期中一部解約元本額 90,490,368円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス (毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド (適格機関投資家限定)	49,952,497円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド (毎月決算型・通貨プレミアムコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド (毎月決算型・為替ヘッジありコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド (毎月決算型・為替ヘッジなしコース)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン (毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (資産成長型)	9,968円
D C ニッセイターゲットデットファンド 2 0 2 5	668,110,536円
ニッセイ/コムジスト新興国成長株ファンド (資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジスト新興国成長株ファンド (年2回決算型)	9,969円
ニッセイ A I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ A I 関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド (3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド (3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (予想配分金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (予想配分金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (資産成長型)	9,972円
既定追加型・繰上償還多額付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド (為替ヘッジあり)	9,973円
既定追加型・繰上償還多額付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド (為替ヘッジなし)	9,973円
ニッセイ/シュロダー・好利回りCBファンド 2023-02 (為替ヘッジあり・既定追加型)	9,974円
既定追加型・繰上償還多額付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド 2023-07 (為替ヘッジあり)	9,975円
既定追加型・繰上償還多額付ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド 2023-07 (為替ヘッジなし)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (毎月決算型)	9,975円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2023年4月18日~2023年10月16日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	1,734,560円
受 取 利 息	1,788,938
支 払 利 息	△ 54,378
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,815,052
売 買 損 益	△ 1,815,052
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,705
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 82,197
(E)前 期 繰 越 損 益 金	1,877,347
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	271,311
(G)解 約 差 損 益 金	△ 234,845
(H)合 計 (D + E + F + G)	1,831,616
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,831,616

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。